

石油コンビナート等における災害時の影響評価等に係る調査研究会報告書
構成（案）

- 1 研究会の概要
 - ・研究会の目的（目的、検討項目）
 - ・研究会の体制（名簿等）
 - ・研究会の開催状況

- 2 石油コンビナートの防災アセスメント指針の改定に係る調査検討
 - ・現状の課題
 - 津波による災害やコンビナート周辺地域に影響を及ぼす災害等の発生・拡大シナリオの不足
 - 新たな知見を踏まえた災害影響度の推定の見直し

 - ・課題に対する検討（検討に関する概要）
 - 災害の発生・拡大シナリオに関する検討
（地震動（短周期（液状化含む）、長周期）及び津波による災害想定、近年発生しているコンビナート周辺地域に影響を及ぼす爆発火災や漏洩事故に関する災害想定、低頻度・大規模被害の災害事象に関する取扱の明確化等）
 - 災害想定手法に関する検討
（災害発生危険度の推定、防災設備の不作動確率の推定、災害影響度の推定方法の見直し、長周期地震動、津波、液状化による災害評価手法の検討等）
 - 災害想定を踏まえた避難の考え方、緊急停止に係る安全上の留意事項等

 - ・検討結果
 - 詳細は別添資料（第3回資料2をベース）

- 3 特定防災施設等の地震による影響評価方法の検討
 - ・現状の課題
 - 消防庁発出の通知（「特定防災施設等及び防災資機材等に係る地震対策及び津波対策の推進について（通知）」（平成24年3月30日付 消防特第63号）中に記載されている、特定事業者が実施する地震及び津波による特定防災施設等及び防災資機材等の被害発生の評価の具体的な方法が示されていない。

 - ・課題に対する検討（検討に関する概要）
 - 東日本大震災における特定防災施設等の被害状況調査

→特定防災施設等（流出油等防止堤、消火用屋外給水施設）のモデル化
→地震により受ける影響の評価方法の検討

- ・検討結果
→詳細は別添資料（第3回資料3をベース）

4 特定防災施設等の技術基準の検討

- ・現状の課題
→地震及び津波による特定防災施設等及び防災資機材等の被害の防止又は軽減策
→地震及び津波による特定防災施設等及び防災資機材等に被害が発生した際の応急措置又は代替措置の例示

- ・課題に対する検討（検討に関する概要）
→法令、現行基準等の整理（比較的頻度が高い地震・津波に耐えるレベルを確保）
* これを超える規模の地震・津波については、上記3の影響評価等を踏まえ、防災規程等に基づき対応
→地震及び津波による特定防災施設等及び防災資機材等の被害の防止又は軽減についての検討
→応急措置又は代替措置それぞれについて、必要となる資機材、その保管場所、平時における対策について検討し、計画に定めるべき内容を整理

- ・検討結果
→詳細は別添資料（第3回資料4をベース）

5 まとめ

- ・今年度の総括
- ・今後の技術的な検討課題（他の関係法令等における見直しの反映、特定防災施設等の津波による影響評価等）

別添資料

- ・石油コンビナートの防災アセスメント指針の改定に係る調査検討
- ・特定防災施設等の地震による影響評価方法の検討
- ・特定防災施設等の技術基準の検討